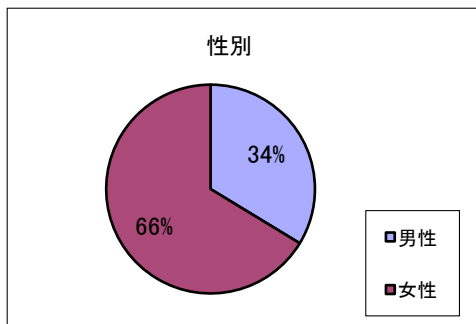


Ⅱ.アンケート項目の分析

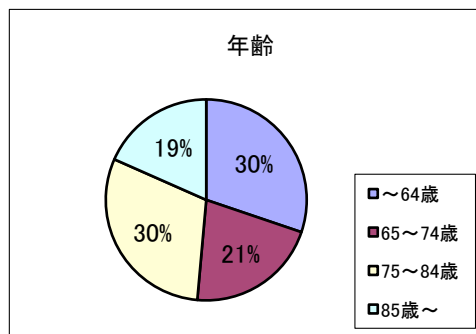
<あなたのことをお尋ねします>

【問1】あなたの性別と年齢をお聞かせください

		人数	割合
性別	男性	156	33.19
	女性	307	65.32

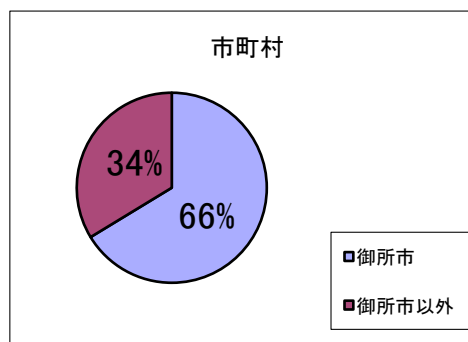


		人数	割合
年齢	～64歳	138	29.36
	65～74歳	97	20.64
	75～84歳	138	29.36
	85歳～	84	17.87



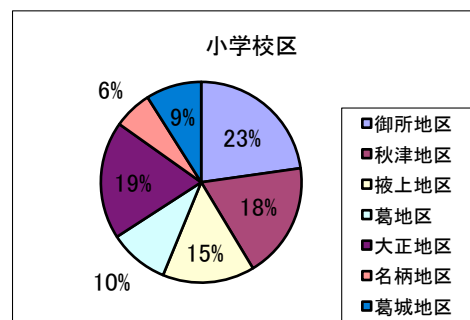
【問2】お住まいの市町村をお聞かせください

		人数	割合
市町村	御所市	307	65.32
	御所市以外	156	33.19



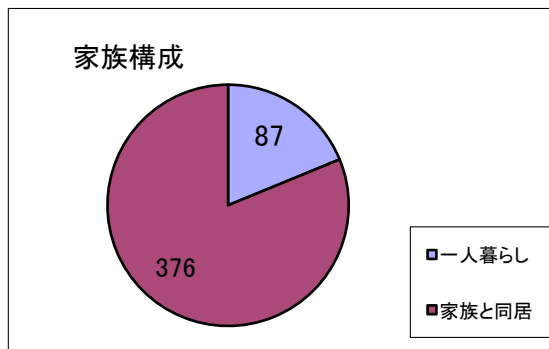
■「御所市」と答えた方は、小学校区を教えてください

		人数	割合
小学校区	御所地区	66	21.50
	秋津地区	54	17.59
	掖上地区	43	14.01
	葛地区	28	9.12
	大正地区	55	17.92
	名柄地区	18	5.86
	葛城地区	26	8.47



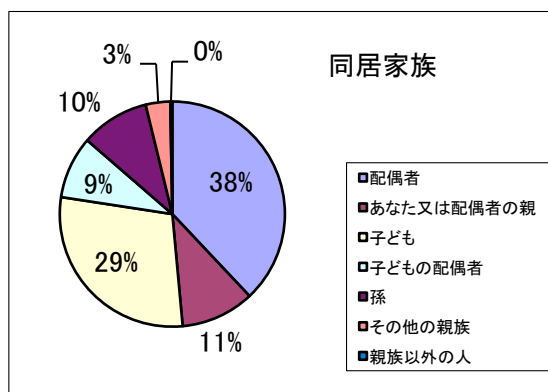
【問3】あなたはどなたかと一緒にお住まいですか

	人数	割合
一人暮らし	87	18.51
家族と同居	376	80.00



■「家族と同居」と答えた方は、どなたとお住まいですか

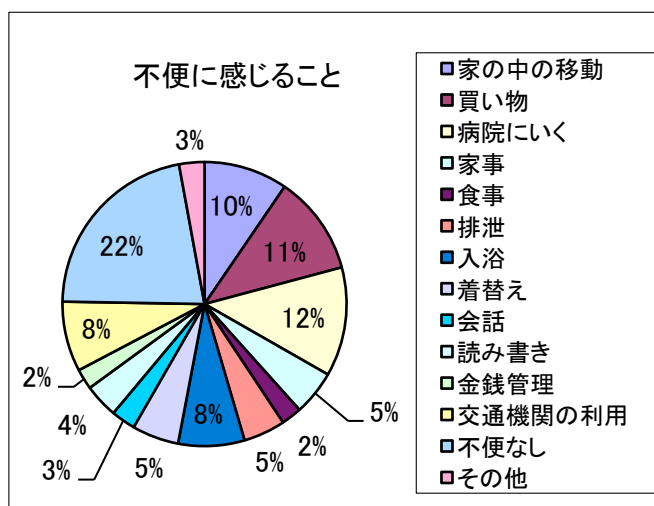
	人数	割合
配偶者	259	55.11
あなた又は配偶者の親	72	15.32
子ども	197	41.91
子どもの配偶者	61	12.98
孫	67	14.26
その他の親族	24	5.11
親族以外の人	2	0.43



<あなたの日常生活についてお尋ねします>

【問4】あなたは、毎日の生活の中で不便に感じるのはどんな時ですか

	人数	割合
家の中の移動	86	18.30
買い物	102	21.70
病院に行く	112	23.83
家事	46	9.79
食事	21	4.47
排泄	43	9.15
入浴	68	14.47
着替え	48	10.21
会話	25	5.32
読み書き	35	7.45
金銭管理	21	4.47
交通機関の利用	72	15.32
不便なし	197	41.91
その他	26	5.53



全体の意見としては、「買物」「病院に行く」を答えた方が多かった。

男女別で見ると、男性では「家の中の移動」「病院に行くとき」「入浴」「着替え」「排泄」と身体的なことにに関して不便さを感じており、女性では「買物」「病院に行くとき」「交通機関を利用するとき」と外出に関することに不便さを感じているという結果となった。

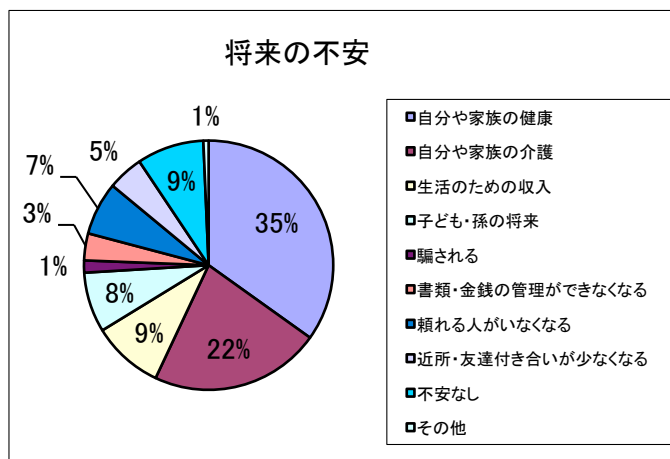
年齢別で見ると、65歳以上になると「買物に行くとき」「病院に行く時」に不便さを感じる方が増えている。「入浴をするとき」は年代が高くなるほど不便に感じておられる。

同居・独居別では、「買物に行くとき」「病院に行くとき」「交通機関を利用するとき」と外出に関するについて、独居の方の方が不便さを感じておられた。「排泄をするとき」「入浴をするとき」「着替えや身なりを整えるとき」と身体的なことに関しては同居の方の方が不便さを感じておられた。一見、同居家族のいるほうが介護の手があるように思われたが、仕事などで日中不在となる状況がみられた。独居の方が身の周りの事に関して自立されていることが多いように思われる。

【問5】あなたが将来の生活で不安に感じている事はどんな事ですか

人数 割合(%)

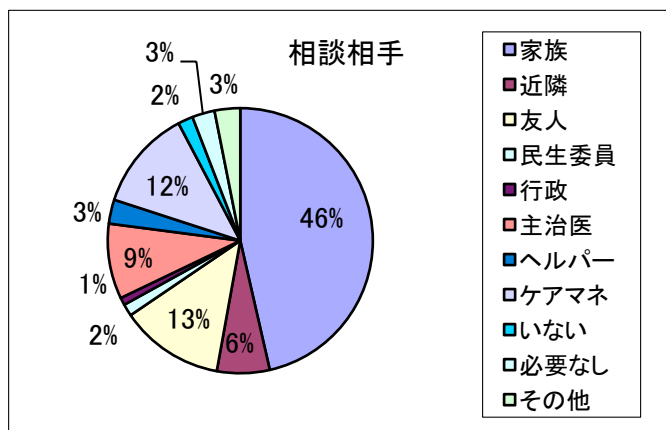
将来の不安	人数	割合(%)
自分や家族の健康	309	65.7
自分や家族の介護	196	41.7
生活のための収入	82	17.4
子ども・孫の将来	69	14.7
騙される	14	3.0
書類・金銭の管理ができなくなる	31	6.6
頼れる人がいなくなる	61	13.0
近所・友達付き合いが少なくなる	41	8.7
不安なし	77	16.4
その他	6	1.3



■「不安を感じている」と答えた方は、その不安を誰に相談しますか

人数 割合(%)

相談相手	人数	割合(%)
家族	253	53.8
近隣	35	7.4
友人	69	14.7
民生委員	8	1.7
行政	5	1.1
主治医	50	10.6
ヘルパー	16	3.4
ケアマネ	67	14.3
いない	10	2.1
必要なし	15	3.2
その他	17	3.6



全体の意見としては、「自分や家族の健康のこと」「自分や家族の介護のこと」が合わせて半数をこえている。年代別では、どの年代も健康面についての不安が一番多くなっているが、中でも85歳以上の方はより不安を感じている。年齢的に介護される側の不安感の現れだと思われる。

64歳までの方は、「自分や家族の介護のこと」に対する不安の率が高く、介護する側としての不安の表れだと思われる。また、「子どもや孫の将来」についての率も高いが、年代的に子ども・孫との関わりが深い年代ともいえる。65～84歳の年代の方は「頼れる人の不在」や「近所・友人付き合いが少なくなること」に対する不安が大きい。周囲の人間関係などの変化がある時期と関係があるのではないだろうか。

同居・独居別では、同居している方のほうが、『自分や家族の介護のこと』を心配する率が高かった。

これは、同居しているがゆえに、家族に迷惑をかけたくないという気持ちの表れではないかと思われる。

「自分や家族の介護のこと」に関しては、どなたかを介護している方とそうでない方とでは、不安を感じる方の割合に約2倍の差がある。「不安を感じることはない」についても、介護していない方が多く、日常のなかで介護体験があるかどうかがこの結果に影響しているのではないかと。

「不安を感じている」と答えた方の相談相手については、「家族」が一番多く、ついで「友人」「ケアマネ」と続く。男女別では、どちらも「家族」が一番多く、次いで男性は「主治医」を上げる方が多かった。対して女性は「友人」を挙げる方が多かった。

年代別では、年代が高くなるにつれて「友人」を上げる方が少なくなっている。74歳までの年代では「主治医」に相談する方が多い。「行政」「民生委員」への相談はどの年代でも少ない結果となった。

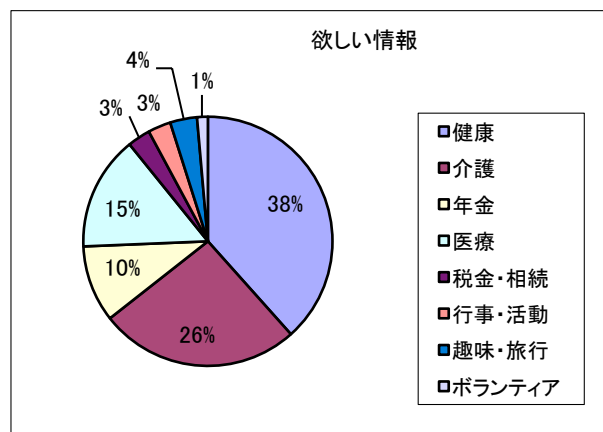
同居・独居別では、同居の方は「家族」への相談が多く、独居では「近隣」「友人」という結果となった。

近所付き合いの違いを見てみると、「付き合いをしていない」と答えた方の相談相手として一番多かったのが「ケアマネ」であった。また、「相談したいが出来る人がいない」との答えも多く、ケアマネや行政の支援が必要であることがわかる。

介護している人の相談相手として、「友人」「主治医」「ケアマネ」が多かった。家族以外の相談相手を持っておられることがわかる。

【問6】あなたが日常生活に関する情報で、欲しいと思う事はどんな事ですか

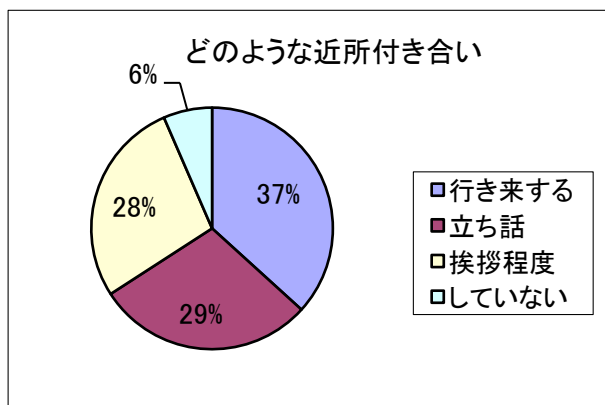
	人数	割合
健康	220	46.81
介護	149	31.70
年金	57	12.13
医療	85	18.09
税金・相続	17	3.62
行事・活動	17	3.62
趣味・旅行	20	4.26
ボランティア	8	1.70



<近所付き合いや地域の繋がりについてお尋ねします>

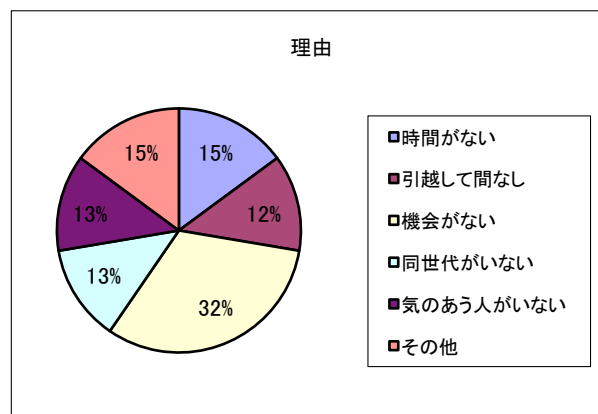
【問7】あなたは、日頃どのような近所付き合いをしていますか

近所付き合い	人数	割合
行き来する	169	36.27
立ち話	134	28.76
挨拶程度	127	27.25
していない	30	6.44



■「近所付き合いをしていない」と答えた方は、理由は何ですか

理由	人数	割合
時間がない	7	1.50
引越して間なし	6	1.29
機会がない	15	3.22
同世代がいない	6	1.29
気のあう人がいない	6	1.29
その他	7	1.50



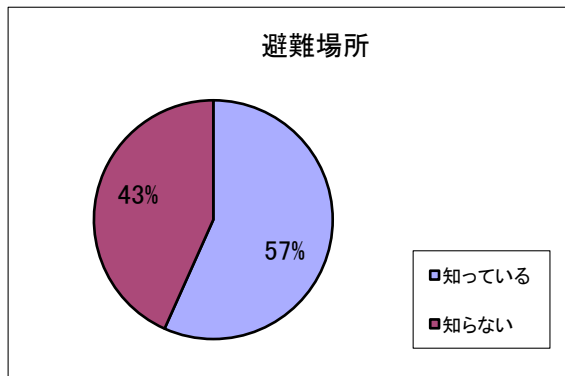
全体の結果をみても、「していない」と答えた方は少なく、近所の方とは何らかのお付き合いをされていることがわかる。

「家を行き来している」「立ち話をしている」の回答が男女・年齢に関係なく6割を超えていた。中でも、84歳以上の方で「行き来している」付き合いが多いことがわかる。64歳までの方は「挨拶程度」の付き合いが多い。同居・独居別では独居の方が「行き来している」付き合いは多いが、反面「していない」との回答も多かった。全回答者のうち、近所付き合いをしていないと答えたのは1割以下だったが、理由の中で、どの年代にも「機会がない」との回答がみられた。機会があれば近隣との付き合いが始まる可能性があり、参加できる地域活動などがあれば、近隣との繋がりを育むきっかけになると思われる。

<防災についてお尋ねします>

【問8】災害時や緊急時に避難する際の避難場所を知っていますか

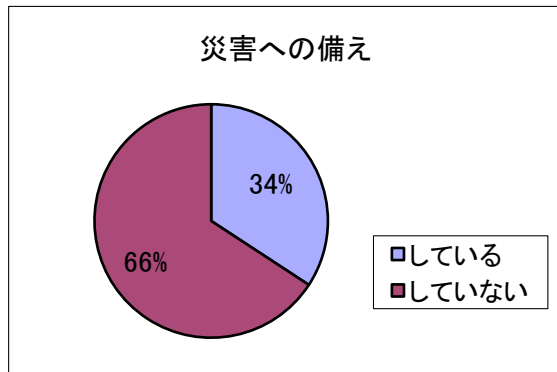
避難場所	人数	割合
知っている	254	54.51
知らない	194	41.63



避難場所は約6割の方が「知っている」と答えた。
 男女別では女性の方が「知っている」方が多い。
 年齢別では、74歳以下の方は6～7割近くの方が避難場所は知っておられるが、76歳以上になると、「知っている」と答えた方は半数以下になる。
 同居・独居別では同居の方の方が「知っている」率がやや高い。

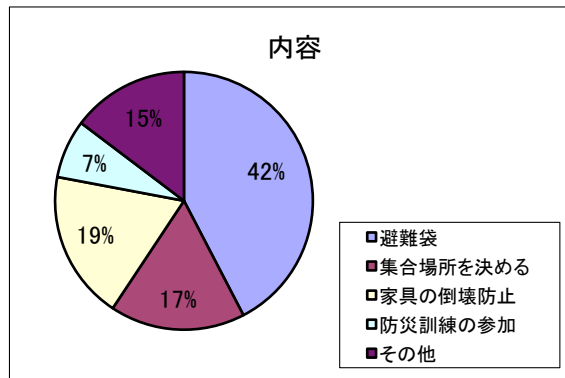
【問9】災害時への備えを何かされていますか

備え	人数	割合
している	154	33.05
していない	296	63.52



■「している」と答えた方はどのようなことをされていますか

内容	人数	割合
避難袋	75	16.09
集合場所を決める	30	6.44
家具の倒壊防止	33	7.08
防災訓練の参加	13	2.79
その他	26	5.58



避難場所を知っている方は半数を超えていたが、反面、備えについては「していない」と答えた方が多い結果となった。

男女別・年齢別でも、「している」と答えた方は半数以下で、75歳以上になると備えを「している」人は3割以下となっている。

同居・独居別では同居の方が「している」と答えた方は多かった。中でも、2世代で同居されている方が約半数となっている。年代の若い方は備えに対する意識は高い傾向にあり、その年代と同居されている世帯がこれにあたるのではないかと考えられる。

備えの内容については「避難袋の準備」が一番多く、「家具の倒壊防止」「家族の集合場所を決める」と続く。その他の意見として「懐中電灯の準備」「水・食料(非常食)の確保」などがあった。

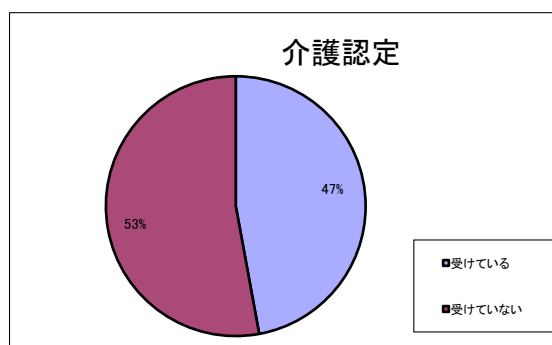
個人や家族での対策が中心となっており、「地域などでの防災訓練等」など地域ぐるみでの防災対策はまだ出来ていないところが多いと感じた。

「奈良県は災害が少ない」との声が多く、そのため備えに対する意識も低いのではないかとと思われる。

<介護の状況や介護保険についてお尋ねします>

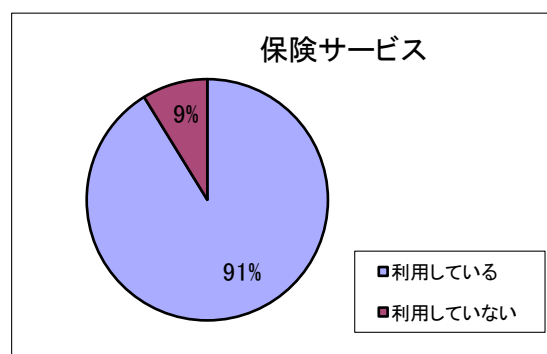
【問10】あなたは介護保険の認定を受けておられますか

	人数	割合
介護認定 受けている	212	45.11
受けていない	238	50.64



■「受けている」と答えた方は、介護保険のサービスを利用していますか

	人数	割合
介護保険サービス 利用している	187	88.21
利用していない	18	8.49

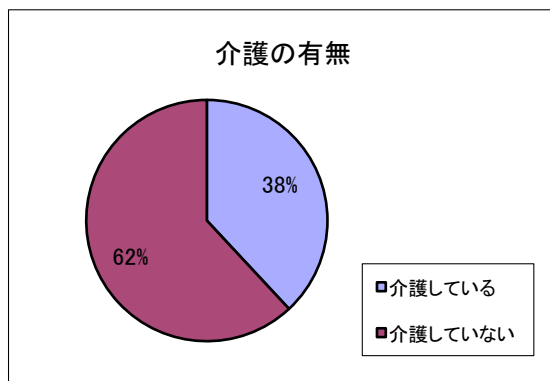


介護認定を受けている方は約半数。年代別の内訳としては、75～84歳の方が少なく、85歳以上が半数を超えている。

認定を受けている方のうち、サービスを利用している方は約9割にのぼる。年代別でみると、75歳以上の方で8割近くを占める。

【問11】あなたは現在どなたかを介護しておられますか

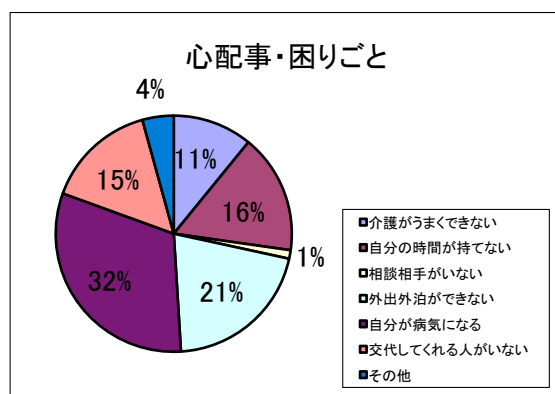
	人数	割合
介護の有無		
介護している	166	35.62
介護していない	270	57.94



介護している人は全体の約4割、その年代別にみると64歳以下が約半数を占めている。

■「介護をしている」と答えた方は、介護をしている中で心配事や困り事はどんな事ですか

	人数	割合
心配ごと		
介護がうまくできない	28	16.87
自分の時間が持てない	42	25.30
相談相手がない	3	1.81
外出外泊ができない	53	31.93
自分が病気になる	81	48.80
交代してくれる人がいない	39	23.49
その他	11	6.63



心配・困りごとについては、「自分が病気になること」が一番多く、「外出・外泊ができない」「自分の時間が持てない」といった、介護を交替できないことについての内容が多かった。

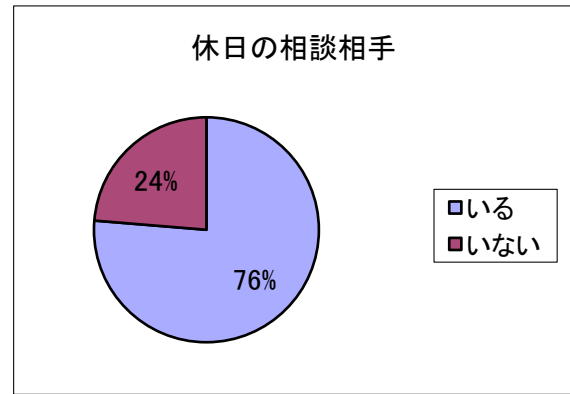
この『代わりがないこと』については、男性の方に多くみられた（「自分が病気になること」を心配されている。）

年代別では、86歳以上で「介護が上手くできない」と答えられている方が増える。

家族と同居されている方でも、「自分が病気になる」などの介護を交替できる人がいないことに対する内容が多くみられた。

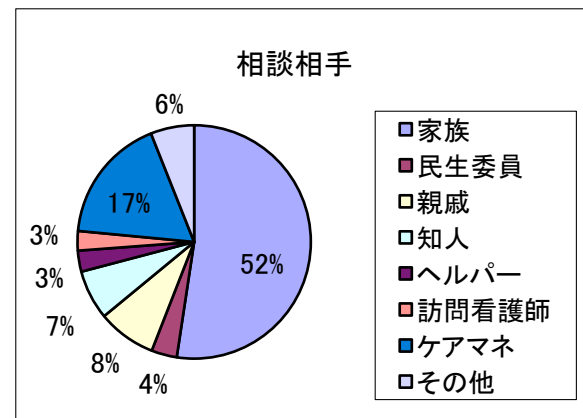
【問12】あなたには土曜日、日曜日、祝日に介護・医療のことを相談できる人はいますか

		人数	割合
休日の相談	いる	322	69.10
	いない	100	21.46



■「いる」と答えた方は誰に相談しますか

		人数	割合
相談相手	家族	252	54.08
	民生委員	17	3.65
	親戚	39	8.37
	知人	33	7.08
	ヘルパー	14	3.00
	訪問看護師	13	2.79
	ケアマネ	84	18.03
	その他	29	6.22



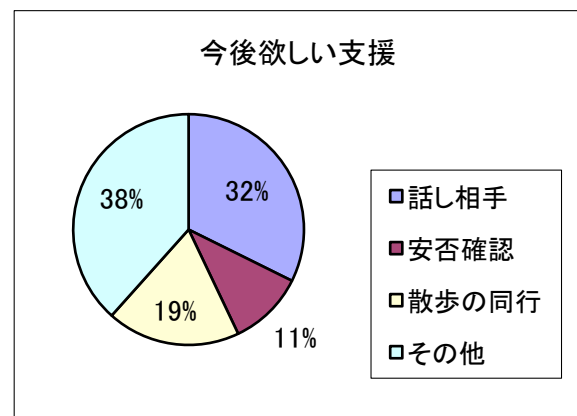
休日の相談相手は7割の方が「いる」と答えられ、相談相手として「家族」が一番多く、次いで「ケアマネジャー」だった。

男性女性別では、男女とも「家族」が一番多く、次いで「ケアマネジャー」との回答だった。「知人」への相談は女性の方が多い。

年代別では、64歳以下の年代では「家族」が半数、「ケアマネジャー」が2割強とその2つが大きく占めている。が、85歳以上の年代では「家族」「親戚」で8割近くを占め、身内での相談が多いことがわかる。

【問13】今後どのような支援があったらいいと思いますか

		人数	割合
今後の支援	話し相手	64	13.73
	安否確認	21	4.51
	散歩の同行	37	7.94
	その他	76	16.31



内容としては、「話し相手」や「散歩の同行」が多く、その他の意見として、外出支援・病院への送迎・掃除・調理・サークル等の場所の提供をして欲しいなどの意見があった。